

令和8年度 第4回与謝野町総合計画審議会 会議報告書【要約版】

日時 令和8年8月17日（月）19時00分～21時00分

場所 岩滝保健センター 1階 機能訓練室

出席者

委員（敬称略）

安達 幸三委員	石倉 直記委員	尾上 亮介委員	川勝 健志委員
小山 富美代委員	○石倉 秀紀委員	◎谷口 知弘委員	中田 麻由美委員
樋口 潔委員	松田 政一委員	味田 佳子委員	宮本 浩司委員
山添 謙三委員			

オブザーバー

高屋 秀 氏

欠席者

足立 英子委員	大泉 珠希委員	津波 璃生委員
---------	---------	---------

注）◎会長、○副会長

総合計画策定委員会

長島教育長	教育委員会 柴田参事	総務課 市田参事	産業観光課 小室参事
福祉課 矢野参事	農林環境課 三田参事	上下水道課 赤西参事	住民税務課 堀口課長
保健課 大上課長	学校教育課 小谷課長	社会教育課 大江課長	会計課 杉本課長
議会事務局 谷口局長	CATVセンター 小西課長	総務課 財産活用・契約室 引野室長	

事務局

企画財政課 廣瀬課長	企画財政課 井崎補佐	企画財政課 井上補佐	企画財政課 渡邊係長
企画財政課 松本係長			

傍聴者 1名

会議の日程

1. 開会（会長あいさつ）
2. 議事
 - （1）第3次与謝野町総合計画 基本計画について
 - 基本計画について
 - 重点プロジェクトについて
 - （2）答申について
 - （3）第3次与謝野町総合計画 基本構想（案）意見募集結果
3. その他
4. 閉会（副会長あいさつ）

会議の経過

1. 開会（会長あいさつ）

- 基本計画を「作る」段階としては本日が最後の審議会となる。今後は「計画を推進していく」視点も持ち、町全体・住民一人ひとりがどう関われるかを考えていく段階に進む。
- 特に「重点プロジェクト」は、町民が「目に見える変化」を実感できる内容として整理した。主体的・実践的な視点での議論をお願いしたい。

2. 議事

（1）第3次与謝野町総合計画基本計画について

○ 基本計画（分野1～4）について

- 事務局から、前回会議等での委員意見を踏まえた修正点の説明後、質疑を行った。主な確認事項は次のとおり。
 - 2 ページ・基本施策 2「8 年後のすがた」欄の「待機児童が解消され」は、現状すでに待機児童ゼロを継続しており誤解を招く。「待機児童ゼロを継続し」等への変更を提案。
- 細かな文言修正や誤解を招く表現への気づきは、8 月 21 日（金）までに事務局へ報告する。
- 以降の全体調整・ブラッシュアップは正副会長へ一任することで合意。

○ 基本計画（分野5）について

- 事務局から、前回会議等での委員意見を踏まえてとりまとめた計画案について説明後、質疑を行った。主な確認事項は次のとおり。
 - 用語表現全般：「DX」など専門用語は、用語集だけでなく初出箇所に注釈・補足をとの意見があり、誰もが理解できるよう注釈・平易な説明を加えることを確認。
 - 34 ページ 基本施策 2「まちの現状」：「声をすくい上げる」は上から目線の印象を与える懸念があるとの意見に対し、温かみのある適切な表現へ見直すことに修正することを確認。
 - 8 年後の姿「DX による事務の効率化」：内容が内部効率化・オンライン化等「IT 化」に留まる印象で、DX の本質への踏み込みが必要との意見を受け、窓口業務改革等は DX の領域と認識していることに加え、職員数減少を見据え、組織を持続可能に変革する成果を 8 年間で示す姿勢を確認。
 - 34 ページ 施策 2「最適な手法を選択し」：「最適な手法」について問われ、紙媒体・公式 LINE・有線テレビ自主放送・SNS・YouTube 等を、相手や内容に応じて重ね合わせ、確実に届く手法を戦略的に選択することである旨を確認。
- 細かな文言修正や誤解を招く表現への気づきは、8 月 21 日（金）までに事務局へ報告する。

○ 進捗管理について

- 答申する計画書案には具体的な数値指標は盛り込まないが、「具体的な指標を持って進捗管理を行う」旨を明記。
- 答申後に行政側で具体的な指標が設定され、10月下旬～11月頃の審議会で提示・意見聴取予定。
- 次回以降、審議会の役割は「計画策定」から「進捗管理・推進」へと転換することを確認。

○ 重点プロジェクトについて【グループワーク】

- 「受け皿（縁づくり・場づくり）の整備」を趣旨とするたたき台をもとに、2つの方向性（「迎え、つながる『縁』づくり」「集い、憩う『場』づくり」）について議論。
- 具体的なアクションに加え、「自分自身がどう関われるか」という主体的な関わり方も対話。

(2) 答申について

- 答申文（案）の構成のほか、計画書（案）に書ききれなかった委員意見を「事業化アイデア集」として別冊で添付する方針を説明。委員から出された多様な気づき・想いを形に残し、今後の政策・事業展開に活かすことを求める。
- 最終確定は正副会長一任とすることで合意。

(3) 第3次与謝野町総合計画 基本構想（案）意見募集結果

- 基本構想（案）へのパブリックコメントは意見提出が2名にとどまった。次段階の「基本計画」のパブリックコメント（10月予定）では、より多くの町民の関心を得られるよう工夫する必要があることを確認。
- 審議会委員も周囲への周知・情報発信に協力するほか、行政も9月議会での説明等を経て、丁寧な周知と合意形成を図ることを確認。

3. その他

- 計画策定の会議としては実質最終回のため、各委員が一言ずつ所感を共有。主な内容は以下のとおり。
 - 計画への共感・手応え：自分の意見（地域の良さ等）が資料に反映され、丁寧に聞いてもらえた実感できた。町のコンパクトさ・規模感の魅力を計画で繋いでほしい。
 - 実行・スピードへの期待：アイデアを紙上で終わらせず、スケジュールを組んで確実に「目に見える変化」として前進を。強いスピード感での事業実行を要望。
 - わかりやすさ・発信：シンプルで分かりやすい計画書とすること、若い世代へ共鳴を広げることが成功の鍵。
 - 推進体制・つながり：策定後も「自分も関わっている」と実感できる推進体制へ。委員同士も「仲間」として今後も繋がりたい。

- 広域・外部からの関わり：近隣市や大学（学生・ゼミ）など、外部からの関わり・アイデア提案への意欲。
- 提案：進行中のプロジェクトやイベントまでの日数等を、ホームページや町内スポットにリアルタイム掲示し、プロセス自体を住民が楽しめる仕掛けを。
- 当面のスケジュールの確認。
 - 8月21日（金） 基本計画ブラッシュアップの意見提出・最終目途
 - 8月27日（木） 答申（会長・副会長が町長へ答申文・事業化アイデア集を手交）
 - 9月 議会説明
 - 10月 第3次計画案のパブリックコメント
 - 10月下旬～11月頃 審議会（進捗管理の指標を提示・意見聴取）

4. 閉会（副会長あいさつ）

- 計画策定から「推進」の新たなフェーズへ移行することを確認。
- 出来上がった計画書は「2次元」の存在であり、これに「時間軸」を加えて事業を一つひとつ進めることで「3次元」の実体となる。行政の推進力が不可欠であり、ここからが本番。
- 住民の「不安」が「夢」「望み」へと変わる与謝野町の実現に期待。

以上